

オプション検査のご案内

examination options

皆さまの健康寿命を延伸させるためより良い
保健・医療サービスの提供を実践いたします



AOYAMA

医療法人社団 青山会

”人と企業の未来のために
ヘルスプロモーションパートナー”

❖腫瘍マーカー検査(血液検査)

1			○	●	●	○	●	2,000円	
2	○		○	●				2,000円	
3						○	●	2,000円	
4							●	2,000円	
5	○	○					●	2,000円	
6							●	2,000円	
7	○				○		○	●	2,000円

								5,000円
								5,000円
								10,000円

女性7点セット
(腫瘍マーカー+甲状腺ホルモン)

								3,000円
--	--	--	--	--	--	--	--	--------



								3,000円
--	--	--	--	--	--	--	--	--------

❖脳梗塞リスクマーカー(血液検査)

微小な脳梗塞を生じたとき、脳の細胞が傷つくと血液内で高くなる物質:アクリンと、炎症物質2種(インターロイキン-6、CRP)の3項目を測定し、年齢と組み合わせて総合的にリスクを評価します。*脳梗塞のリスク情報を提供するもので、脳梗塞を診断するものではありません。隠れ脳梗塞(症状の無い脳梗塞)は今まではMRI検査でなければ見つかりませんでした。脳梗塞リスクマーカーは血液検査で無症候性脳梗塞を約85%の確立で検出することが出来ます。高価な脳ドックを受けるかどうかの判断をするのに役立ちます。

脳梗塞リスクマーカー	バイオマーカー(アクリン抱合体)・炎症物質(インターロイキン-6、CRP)	8,000円
------------	---------------------------------------	--------

*バイオマーカー:ある疾病の存在や進行度をその濃度に反映し、血液中で測定されるタンパク質

❖心不全 + 脳梗塞 リスクマーカーセット検査

心不全+脳梗塞	NT-proBNP+バイオマーカー(アクリン抱合体)・炎症物質(インターロイキン-6、CRP)	10,000円
---------	---	---------

❖胃がんリスク検査(血液検査)「ABC検診:胃がんリスク分類」

胃がんリスク検査とは
胃がんリスク検査は、胃がんにかかる危険度(リスク)を調べるもので、血清ペプシノゲン検査とヘリコバクター・ピロリ菌抗体検査という二つの検査を組み合わせ、胃がんになりやすい状態かについて調べその結果を組み合わせ胃がんのリスクをA、B、C、Dの4群に分類するものです。

ABC検診	ペプシノゲン検査+ヘリコバクター・ピロリ抗体 + 胃がんリスク分類	4,000円
ペプシノゲン検査	血清ペプシノゲン (PG I, PG II, PG I /PG II 比)	3,000円
ヘリコバクター・ピロリ抗体	ヘリコバクター・ピロリIgG抗体	2,000円

■ 血清ペプシノゲンとは

胃がんの多くは胃粘膜の萎縮(萎縮性胃炎)が大きな原因と考えられており、萎縮の度合いで胃がんのなりやすさを知ることが出来ます。ペプシノゲンの量を測定することで、どれくらい胃粘膜の萎縮が進んでいるかを調べます。

■ ヘリコバクター・ピロリIgG抗体

ヘリコバクター・ピロリという菌は人間の胃粘膜に住み着き、胃潰瘍や十二指腸潰瘍などを発症させます。また、このピロリ菌は慢性萎縮性胃炎の原因とも考えられており、胃がんに深い関係があると言われています。血液中のピロリ菌への抗体の値を測定することで現在ピロリ菌に感染しているかを調べます。

❖Viewアレルギー39 (血液検査)

Viewアレルギー39 とは
1度の採血で39種類のアレルギーの原因を調べられる検査です。アレルギー性疾患の主要な原因アレルゲンの項目が入っています。

Viewアレルギー39	特異的IgE抗体 (39種物質)	10,000円
-------------	------------------	---------

❖肝炎ウイルス (血液検査)

肝炎ウイルス	B型肝炎	抗原	B型肝炎ウイルスの感染の有無を調べます。	500円
		抗体	過去に感染し、その後、治癒したことを示す。HBVワクチンを接種した場合にも陽性となる。	550円
	C型肝炎	抗体	C型肝炎ウイルスの感染の有無を調べます。	2,000円

❖Cologic [採血でできる大腸がんリスク検査]

新しく発見された血液中の**GTA*446**という**長鎖脂肪酸**の濃度を測定する大腸がんのリスク検査です。測定値を「**高リスク群**」と「**低リスク群**」に判別し、「**高リスク群**」の場合、「**低リスク**」に比べて高い確率で、大腸がんにかかっているか、もしくは将来大腸がんにかかることが推定されます。

GTA-446は、カナダのフェノメノームディスカバリーズ社(PDI)が発見した長鎖脂肪酸で、実験的には培養細胞のアポトーシスを誘導したり、炎症を起こす因子の発現を抑制する作用などが確認されています。また、大腸がんの手術前後でGTA-446の数値が変化しないことや、加齢とともに低値化していくことなどから、腫瘍量と直接関係がある物質ではなく、大腸がんの発生に対するからだの変化や抵抗力を表しているものではないかと考えられているもので便潜血検査よりも診断精度の高い検査です。

Cologic	血中の長鎖脂肪酸「GTA-446」の濃度を調べます。	10,000円
---------	----------------------------	---------

自己採取による検査

◆子宮頸部細胞診

子宮頸部細胞診(自己採取)とは

専用の採取容器を使用して5 頸部の細胞を擦り取るように採取します。電子顕微鏡で異常な細胞が無いかを確認する検査です。

子宮がん検査	子宮頸部細胞診	2,000円
--------	---------	--------

◆HPV(ヒトパピローマウイルス):高リスク型HPV自己採取

高リスク型HP(自己採取)とは

子宮頸がんの原因となるHPV(ヒトパピローマウイルス)は150種類以上の型があり5 そのうちの十数種類は細胞を異常細胞(がん化)に変化させる危険性のある型です。この高リスク型のHPVの存在を調べる検査です。

HPV高リスク型検査	高リスク型HPVの検出	5,000円
------------	-------------	--------

◆便潜血検査:2日法

◆便潜血検査とは

大腸の中に潰瘍やポリープ、がんができてると出血することがあります。排出された便の中に血液の反応があるかどうかを調べ、出血がないかどうかを確かめる検査です。出血があったからといってがんだというわけではありませんが、身体のどこで、どんな理由で出血が起きているのか調べるため、陽性(+)となったら必ず精密検査を受診してください。

便潜血検査	2日法	1,600円
-------	-----	--------

超音波(エコー)検査

◆超音波(エコー)検査のしくみ

超音波とは、人が聴くことができない高い周波数の音波です。この高い音を臓器に当てて、跳ね返ってきた反射を画像に表します。身体に無害であり、リアルタイムで臓器の様子を観察することができます。妊娠中の方にも安心して受けていただける検査です。

乳房(腺)超音波	乳腺の状態や腫瘍ができていないか・腫瘍が良性か悪性か・リンパ節が腫れていないかなどを調べます。	3,500円
----------	---	--------

甲状腺超音波	喉の部分にある甲状腺に超音波をあて、甲状腺の大きさ、腫瘍病変の位置や大きさ・性状などを調べます。	3,500円
--------	--	--------

腹部超音波	腹部(みぞおちから、わき腹のあたり)に超音波をあて、5つの臓器(肝臓・胆のう・膵臓・脾臓・腎臓)を中心に異常がないかを調べます。	5,300円
-------	--	--------

動脈硬化度(血圧脈波)検査

◆血圧脈波検査の内容

CAVI: 動脈の硬さを調べる検査で、大動脈を含む心臓から足首までの動脈硬化度を調べます。

ABI : 下肢動脈の狭窄や閉塞を調べる検査です。

動脈硬化検査 (血圧脈波検査)	仰向けに寝た状態で両腕・両足首の血圧と脈波を測定することで、動脈の硬さ・詰まり具合・血管年齢などがわかります。	3,500円
--------------------	---	--------